

令和4年度 第2回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立とりかい高等支援学校
校長名	松村 高志

開催日時	令和4年11月16日(水) 13:00~16:00
開催場所	大阪府立とりかい高等支援学校 図書室および各教室(授業見学)
出席者(委員)	A委員、B委員、C委員、D委員、(欠席)E委員、F委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席A、首席B、 教務主任、生徒指導主事、保健主事、進路指導主事地域支援部長
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> • 本日のレジメ(次第) • 学校運営協議会 委員名簿 • 学校運営協議会 事務局名簿 • 令和4年度「学校経営計画」【進捗】 • 授業見学の参考資料(単元・つけさせたい力など) • 第1回 授業参観週間保護者アンケート • 体育祭(10月)アンケート • 令和4年度3年生(8期生)進路先一覧

議題等(次第順)
<ul style="list-style-type: none"> • 授業見学について • 令和4年度「学校経営計画」の進捗について • 第1回 授業参観週間保護者アンケートについて • 体育祭(10月)アンケートについて • 学校教育自己診断の実施について • 令和4年度3年生(8期生)進路先について • その他、質疑応答

・授業見学について

【B委員】

卒業後の生活につながる授業内容で、生徒が積極的であった。

【C委員】

初めて授業を見学した。生徒の就労に向けて、先生方のご努力、真剣に取り組んでいる姿があった。力強い社会人になってくれることを期待している。健常者以上の力を持っていると感じた。

【D委員】

初めて授業見学をした。生徒が自力で取り組む姿勢に感銘を受けた。弊社に実習に来る生徒の普段の様子が分かった。調理実習のハンバーグはとてもおいしそうだった。

【F委員】

朝から下校前までの授業全体ではものすごい情報量だろう。子どもに授業の様子を尋ねても「わからない」と言うのは無理からぬことだろう。家ではハンバーグを食べないが、調理実習では食べることに驚いた。

【A委員】

美術では心豊かな作品を多く見た。生徒同士が作品を見合って、評価を発表していた。生徒がいきいきとしていた。「あのような授業を受けてみたい」と思わせる授業であった。

・令和3年度 学校経営計画の進捗について

【校長】

今年はコロナ禍であっても行動の制限は少なく、昨年よりも活動は増えている。先日は2年生の研修旅行があり、福岡・長崎方面に2泊3日の行程で、校長も引率した。

「1 特色ある教育活動の充実」では、概ね計画どおりに進んでいる。(5)イの「クラブの活性化」については生徒の加入率が70%であり、加入率向上に向けて課題を整理したい。

「2 高等支援学校教員としての専門性の確立と組織力向上」では、(1)ア「新転任者を対象とした校内外研修の充実」について、新転任者が校内研修の一環として、地域への学校紹介イベント等で学校の広報活動をしている。(2)イ「支援学校免許取得本校在籍者80%以上」について、現時点では63%である。この2年はコロナの影響で認定講習が見送られることがあったが、今後は受講者が増えるだろう。次年度は人事の入れ替えにより、免許取得者が増えるだろう。

「3 地域・関係機関の連携や交流の充実と理解啓発の推進」では、(1)ア「地域行事へ年3回以上参加」について、高槻市の「安満遺跡ハンドメイドフェス」や摂津市の「淀川わいわいガヤガヤ祭」といったイベントに出店した。摂津市のイベントはこの2年はコロナの影響で開催されなかったが、製品の販売を通じて地域の方とつながる貴重な機会であることを再認識できた。(3)ア「防災学習年3回」について、摂津支援学校と合同で2回行っている。12月にも予定している。昨年度より、2階までの浸水を想定して、摂津支援の生徒が本校の主な教室のある4階に避難するようになった。

「4 校務の効率化による働き方改革」では、時間外勤務時間の多い教員がいることは課題である。教員が積極的に活動しようとする、残業が増えることがある。

【D委員】

「3(3)」に関連して、「Jアラート(ミサイル)」に関する訓練はしているか。

【校長】

在校時にミサイルに関する警報が出た場合は、国や大阪府が示すように、校内に避難し窓から離れるなどの対応をするしかない。生徒への周知の仕方は工夫のいるところだろう。

【A委員】

「3（3）」に関して、「教育支援クラウドサービスを活用した災害時における生徒の安否確認訓練」とはどのようなものか。

【生徒指導主事】

1人1台端末（iPad）あるいは生徒の携帯電話を活用して、Google クラウドルームにて安否確認をリアルタイムにできるようにしている。

・第1回 授業参観週間保護者アンケートについて

【首席A】

学校評価の視点から、保護者対象のアンケートについては、今年度はこれまでの紙のものに加え、Google フォームにて回収するようにした。手始めとして7月の授業参観週間で行ったが、参観者が少ないこともあり、Google フォームによる回答は4件であった。記載内容は概ね良好であった。回答数は少ないが、今後もインターネットを介したアンケートに切り替えることで、時間のかかる文字起こしや集計の手間が減り、働き方改革につながるだろう。

・体育祭（10月）アンケートについて

【首席B】

体育祭のアンケートは紙の回答は4件、Google フォームによる回答は6件であった。記載内容は概ね好評であった。カメラマンの写真撮影について、「ネット販売の検討を」とあったが、個人情報の取り扱いなどの確認が必要である。

・学校教育自己診断の実施について

【教頭】

11月末から12月にかけて、Google を活用して教員と生徒を対象に実施する予定。保護者については状況を見て、例年どおりの紙とするか判断したい。集計結果と分析については第3回で報告する予定である。

・令和4年度3年生（8期生）の進路状況について

【進路指導主事】

約80%の生徒が就職希望であり、例年よりも速いペースで内定の生徒が増えてきている。最終面接を控えている生徒もいる。訓練校等で調整している生徒は例年より多い。福祉就労も数名いる。

・その他、質疑応答

【B委員】

学校経営計画「2（2）ア」にある12月の「SNS研修」とはどのようなものか。

【地域支援部長】

教員が SNS について生徒に伝える前に、教員自身が SNS について理解を深めないといけない。外部講師を招いて実施する予定。

【C委員】

成人年齢が 18 歳に引き下げられたことについては、どのような取り組みがあるか。

【首席B】

生徒には在学中に 18 歳成人となる者がいるため、外部講師を招いて職員研修を行っている。生活と働くことは「表裏一体」であり、18 歳成人について生徒にしっかりと伝える必要がある。これまでの「未成年後見人」が「成年後見人」になることで手続きやその役割が変わってくる。12 月には PTA 企画として保護者向けに「成年後見人」「障がい者年金」についての研修も行う。

【地域支援部長】

「子どもの権利」の視点で、教員からのニーズが高かった研修として職員研修を企画した。

【F委員】

障がい者年金について知らない人が多い。「親は一生、親である」から情報を常にアップデートする必要がある。現時点で 10 年後の子どもの姿を想像することは難しい。「子どもを置いて死にたくない」「1 秒でも子どもより長く生きたい」が多くの親の気持ちではないだろうか。研修で多くのことを学びたい。親ができることを一つでもやっていきたい。

【A委員】

「障害者権利条約」の批准から 10 年近くになる。それまでは障がい児教育に関わる先生方が知識を増やし実践してきたことにより、障がい児教育が充実してきた。

成年後見人についても、後見人がつくことで本人が安心できるのかどうか懸念が残る。本人が意思決定できるように支援していくことが肝要である。昔は「先生の言うことを聞いて黙ってやりなさい」という教育が多かった。今日の見学した授業のように、生徒が主体的に学ぶ機会を増やすことで、生徒が「自己決定」できるようになってほしい。

【校長】

「主体的で深い学び」につながる授業を展開し、生徒に「やってみたい」と思わせ、生徒が「どうしたらよいか」と考える機会を増やしていきたい。「1 人 1 台端末」の活用に加え、各教室の単焦点プロジェクタの活用も進めたい。ただ、特別教室には整備されていないため、予算確保に努めたい。令和 5 年度の授業見学はタブレットを使った座学の様子も見ていただきたい。

次回の会議日程

日時	令和 5 年 3 月 2 日 (木) 15:00~
会場	本校図書室